

# 子育て期の家族のウェルビーイング -予防的育児支援の重要性-

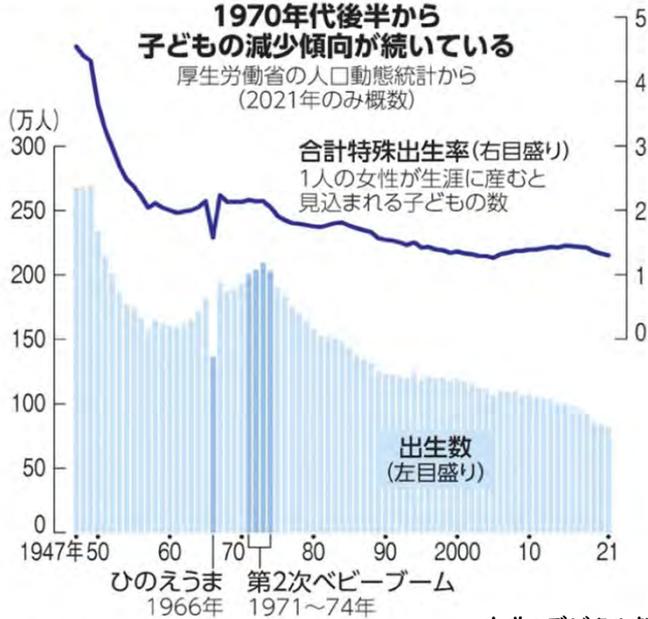
日本学術会議連携会員  
名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻 浅野みどり

## Today's contents

- 背景:わが国の超小児高齢化の現状
- 小児看護学/家族看護学からみた  
我が国の現行の子育て支援について
- 全ての家庭のウェルビーイングを高めるための  
子育て支援: Healthy Families America  
からのヒント

### 1970年代後半から 子どもの減少傾向が続いている

厚生労働省の人口動態統計から  
(2021年のみ概数)



1970年代後半から子どもの減少傾向が続いている

出典:デジタル朝日新聞 2022/6/3

2021年の出生数:  
**過去最少 81万1604人**  
想定より6年早く少子化進む

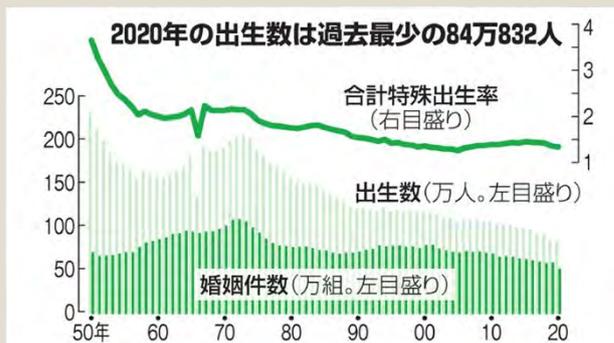
「合計特殊出生率」は1・30で、前年より  
0・03ポイント下がり、6年連続の低下  
(過去4番目の低水準)

死亡数:143万9809人(戦後最多)

➡ 約63万人の人口減



### 出生数、過去最少の84万人 婚姻が急減して戦後最少に



人口動態統計のポイント(2020年)

合計特殊出生率	死亡数	自然増減数	婚姻件数
1.34	137万2648人	53万1816人減	52万5490組
5年連続低下	11年ぶり減少	過去最大の減少	戦後最少

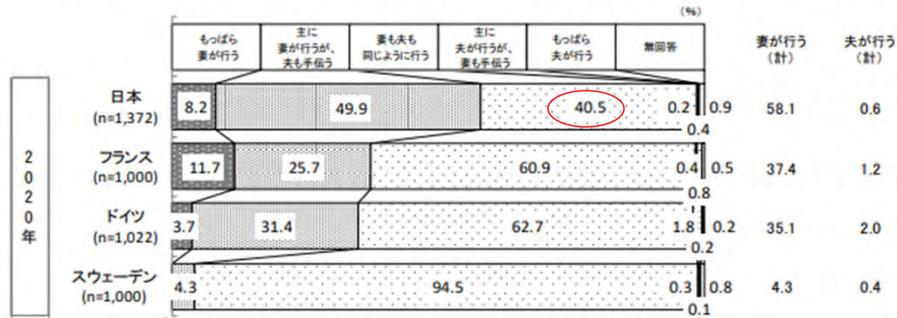
2020年の出生数は過去最少の84万832人/人口動態統計のポイント(2020年)

子どもや  
子育て世代に  
不寛容な社会に?

出典:デジタル朝日新聞 2021/6/4

## R2年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書 (概要版) 内閣府

図IV-1 小学校入学前の子供の育児における夫・妻の役割について(4か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、「妻も夫も同じように行う」(40.5%)が前回2015年度調査の33.2%より7.3ポイント増加している。(図IV-2)

欧州3国と比較して、「妻も夫も同じように行う」という意識は明らかに低い

令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書【全体版】(PDF形式): 子ども・子育て本部 - 内閣府 (cao.go.jp)

## R2年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書 (概要版) 内閣府

図IV-3 育児の中で、妻よりも夫の方が主に行ってほしいこと  
<子供が1人以上の回答者> (複数回答)

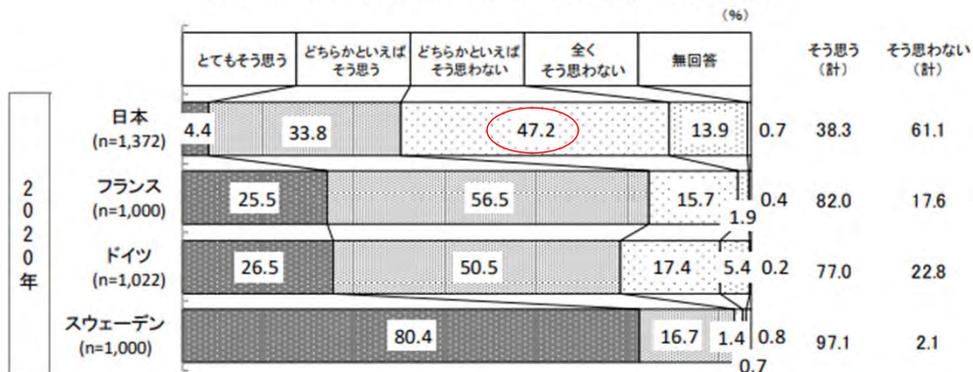


注:「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書【全体版】(PDF形式): 子ども・子育て本部 - 内閣府 (cao.go.jp)

## R2年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書 (概要版) 内閣府

図V-1 子供を生み育てやすい国だと思うか (4か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、『そう思う (計)』の割合が2010年度調査以降10ポイント以上減少している (2010年: 52.6%→2015年: 46.6%→2020年: 38.3%)。 (図V-2)

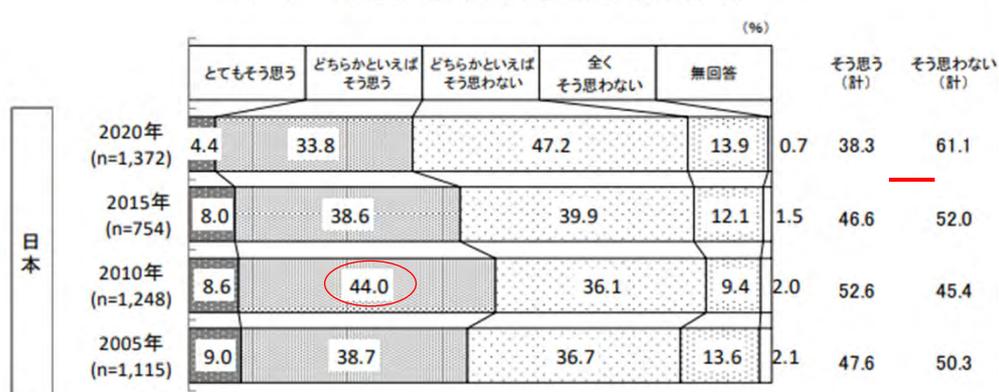
**「子どもを生み育てやすい」と感じられにくい現状を何とかしなければ!**

令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書【全体版】(PDF形式): 子ども・子育て本部 - 内閣府 (cao.go.jp)

## R2年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書 (概要版) 内閣府

### 国内における意識の動向

図V-2 子供を生み育てやすい国だと思うか (日本)



注: 「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

**日本の子育て環境はむしろ悪化している?! 国内の動向では2010年が最も印象がよかった**

令和2年度少子化社会に関する国際意識調査報告書【全体版】(PDF形式): 子ども・子育て本部 - 内閣府 (cao.go.jp)



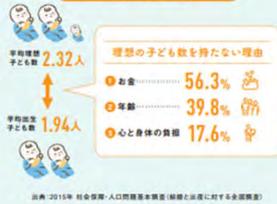
## 子育てを取り巻く環境の現状



### 出生数推移/1950~2019年



### 理想の子ども数



### 男性の育休率



### 産後ケア事業



出典: 子育てを取り巻く環境の現状 - 健やか親子21-妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイト- (mhlw.go.jp)

# 病児・病後見保育 セーフティーネット



かるがも／ひばり  
KARUGAMO/HIBARINOMOF

病児・病後見保育施設とは

「子供が病気、でも・・・」こんな時にご利用頂けます。

「病児・病後見保育施設」とはあまり馴染みのない言葉かもしれませんが。

病気または回復期にあるお子さまを、お仕事はもちろん、ご家族やご兄弟の都合等やむを得ない事情で集団保育が困難な間、一時的にお預かりする小規模保育施設のことです。

名古屋市では、子育て支援の一環として「名古屋市病児・病後見デイケア事業」を行っており、当施設はそれに参加しております。



名古屋大学  
ジェンダーダイバーシティセンター

Nagoya University

検索

English 中文

HOME

サイトマップ

お問い合わせ

関連サイト

Home > ワークライフバランス促進支援 > 出産・育児支援 > 病児・病後見保育 > 名古屋大学の病後見保育

### 名古屋大学の病後見保育

名古屋大学では、こすもす保育園の常時保育利用者を対象に、病後見保育を行っています。

#### ● 名古屋大学の病後見保育

- こすもす保育園病後見保育利用案内(PDF)
- 名古屋大学病後見保育利用申込書(PDF)
- 病後見保育依頼連絡票(PDF)
- 与薬依頼書(PDF)



## 子どもにとって健康とは？

- WHOの健康の定義

健康とは、身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であって、単に疾病がないとか虚弱でないというだけではない

- 子どもの健康とは

すくすく育つ (thriving well)

生きる喜びいっぱいの生活

(Joie de vivre)



## 家族のwell-beingのための支援 -親になることへの支援-

- 子育て支援(厚労省)

子どもの虐待防止対策の現状と方向性

- 乳児家庭全戸訪問事業

(こんにちは赤ちゃん事業)

- 集いの場(地域子育て支援拠点事業)

- 養育支援訪問事業

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kosodate08/03.html>

# こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの全戸訪問事業の創設-厚生労働省-

2007年度(平成19年)スタート  
→ 2009年4月～  
児童福祉法に基づく事業

【事業の目的】支援が必要な家庭に適切なサービス提供をつなげる。

乳児家庭の孤立化防止と健全な育成環境確保

実施主体;市町村

【事業内容】

1) 生後4か月児のいる家庭の全戸訪問

Population approach

① 育児不安悩みを聴き、育児支援に関する情報を提供する

② 母子の心身状況や養育環境の把握と助言 → 適切なサービスにつなげる!

2) 訪問スタッフ; 母子保健推進員等

3) 訪問結果により支援が必要と判断

High risk approach

→ 関係者(専門職)によるケース会議

→ 適切なサービス提供

46

## 乳児家庭全戸訪問事業: 訪問者の確保における工夫

(2) 訪問者: 保健師、助産師、看護師の他、保育士、母子保健推進員、愛育班員、民生・児童委員(主任児童委員)、母親クラブ、子育て経験者等から幅広く人材を発掘し、訪問者として登用して差し支えないものとする。

1) 訪問者確保の方法

- 既に採用している職員(保健師、保育士等)の活用
- 非常勤職員として新たに採用  
(母子保健推進員、主任児童委員、助産師、保健師、看護師)
  - ・ 助産師、保健師、看護師については、助産師会からの紹介、市広報誌公募、ハローワーク・ナースセンター等での公募(京都市)
  - ・ 助産師会への業務委託(大阪市、福岡県) など
- 民生委員・児童委員、主任児童委員の活用
- 既存の子育て支援員を訪問員として活用
- 健康推進員の活用
- 新たに訪問員を養成 (青森県弘前市・静岡市・愛知県・長崎県佐世保市・堺市・沖縄県沖縄市)

# 日本の母子保健の現状と課題

## 健やか親子21(第2次) H27~

- 安心して子どもを産み、健やかに育てることの基礎となる少子化対策としての意義に加え、少子化社会において、国民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現を図るための国民の健康づくり運動(健康日本21)の一翼を担うもの

- 母子保健を取り巻く状況
- ・少子化の進行
  - ・晩婚化・晩産化と未婚率の上昇
  - ・核家族化、育児の孤立化等
  - ・子どもの貧困
  - ・母子保健領域における健康格差



## 「健やか親子21」の基盤課題・重点課題と目標

### 基盤課題A 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

全体目標 すべての子どもが健やかに育つ社会

目標 安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

#### 健康水準の指標

- ・妊産婦の死亡率
- ・全出生数中の低出生体重児の割合
- ・妊娠・出産について満足している者の割合
- ・むし歯のない3歳児の割合

#### 健康行動の指標

出典: 健やか親子21と成育基本法 - 健やか親子21-妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイト- ([mhlw.go.jp](http://mhlw.go.jp))

## 「健やか親子21」の基盤課題・重点課題と目標

- 健康行動の指標**
- ・妊娠中の妊婦の喫煙率
  - ・育児期間中の両親の喫煙率
  - ・妊娠中の妊婦の飲酒率
  - ・乳幼児健康診査の受診率(重点課題②再掲)
  - ・小児救急電話相談(#8000)を知っている親の割合
  - ・子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合
- 環境整備の指標**
- ・妊娠届出時にアンケートを実施する等として、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している市区町村の割合(重点課題②再掲)
  - ・妊娠中の保健指導(母親学級や両親学級を含む)において、産後のメンタルヘルスについて、妊婦とその家族に伝える機会を設けている市区町村の割合
  - ・産後1か月でEPDS9点以上を示した人へのフォロー体制がある市区町村の割合
  - ・ハイリスク児に対し保健師等が退院後早期に訪問する体制がある市区町村の割合、市町村のハイリスク児の早期訪問体制構築等に対する支援をしている県型保健所の割合
  - ・乳幼児健康診査事業を評価する体制がある市区町村の割合、市町村の乳幼児健康診査事業の評価体制構築への支援をしている県型保健所の割合

出典：[健やか親子21と成育基本法 - 健やか親子21-妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイト- \(mhlw.go.jp\)](#)

## 「健やか親子21」の基盤課題・重点課題と目標

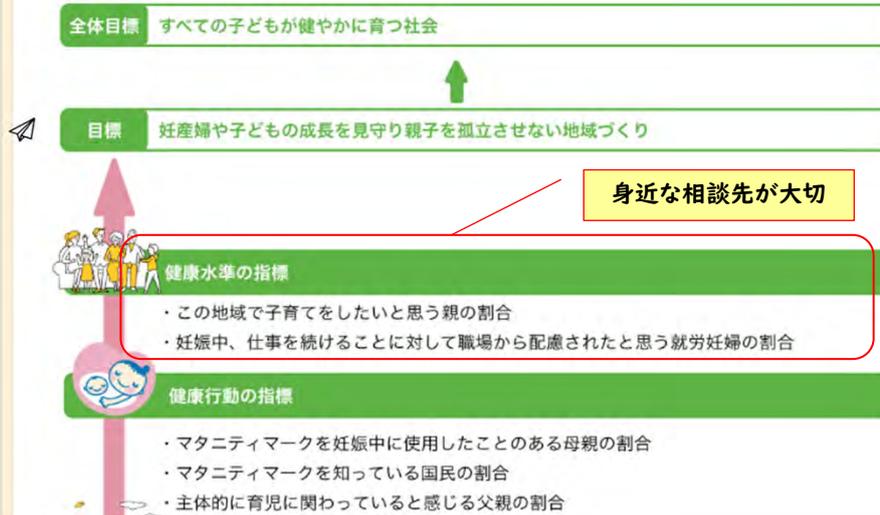
### 参考とする指標

- ・周産期死亡率
- ・新生児死亡率、乳児(1歳未満)死亡率
- ・幼児(1～4歳)死亡率
- ・乳児のSIDSの死亡率
- ・正期産児に占める低出生体重児の割合
- ・妊娠11週以下での妊娠の届出率
- ・出産後1か月児の母乳育児の割合
- ・産後1か月でEPDS9点以上の褥婦の割合
- ・1歳までのBCG接種を終了している者の割合
- ・1歳6か月までに三種混合・麻しん・風疹の予防接種を終了している者の割合
- ・不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成件数
- ・災害などの突発事象が発生した時に、妊産婦の受入体制について検討している都道府県の割合

出典：[健やか親子21と成育基本法 - 健やか親子21-妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイト- \(mhlw.go.jp\)](#)

# 「健やか親子21」の基盤課題・重点課題と目標

## 基盤課題C 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり



出典：健やか親子21と成育基本法 - 健やか親子21-妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報サイト- (mhlw.go.jp)

## 地域子育て支援拠点事業

令和5年度当初予算(案) 1,920億円の内数(1,800億円の内数)  
(子ども・子育て支援交付金(こども家庭庁)及び重層的支援体制整備事業交付金(厚生労働省))

### 1. 施策の目的

#### 背景

- 3歳未満児の約6~7割は家庭で子育て
- 核家族化、地域のつながりの希薄化
- 自分の生まれ育った地域以外での子育ての増加
- 男性の子育てへの関わりが少ない
- 児童数の減少

#### 課題

- 子育てが孤立化し、子育ての不安感、負担感
- 子どもの多様な大人・子どもとの関わりが減
- 地域や必要な支援とつながらない

#### 地域子育て支援拠点の設置

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供

### 2. 施策の内容

- 一般型 公共施設、空き店舗、保育所等に常設の地域の子育て拠点を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る取組を実施
- 連携型 児童館等の児童福祉施設等多様な子育て支援に関する施設に親子が集う場を設け、子育て支援のための取組を実施

#### 4つの基本事業

- 子育てで親子の交流の場の提供と交流の促進
- 子育て等に関する相談、援助の実施
- 地域の子育て関連情報の提供
- 子育て及び子育てに関する講習等の実施

公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施

NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て中の当事者による支え合いにより、地域の子育て力を向上

#### ○更なる展開として

- 地域の子育て支援活動の展開を図るための取組(一時預かり等)
- 地域に出向き、出張ひろばを開設
- 高齢者等の多様な世代との交流、伝統文化や習慣・行事の実施等

### 3. 実施主体等

- 実施主体 市町村(特別区を含む)
- 負担割合 国(1/3)、都道府県(1/3)、市町村(1/3)
- 主な補助単価(令和5年度予算案)
- 【基本事業】一般型 8,639千円(5日型、常勤職員を配置の場合)  
連携型 3,192千円(5~7日型の場合)  
※ 開設日数、勤務形態により単価が異なる
- 【加算事業】子育て支援活動の展開を図る取組(一時預かり等)  
3,302千円(一般型(5日型)で実施した場合)  
地域支援加算 1,553千円  
特別支援対応加算 1,085千円  
育児参加促進講習休日実施加算 412千円  
※ この他、出張ひろば等の実施により単価が異なる
- 【開設準備経費】(1)改修費等 4,000千円  
(2)礼金及び賃借料(開設前月分) 600千円

#### ○実施か所数の推移(単位:か所数)

H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
7,259	7,431	7,578	7,735	7,856

Microsoft PowerPoint - 地域子育て支援拠点事業 (mhlw.go.jp)

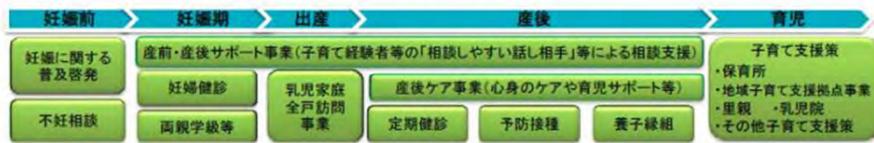
▶ 利用者支援事業（母子保健型）と利用者支援事業（基本型）を一体的に実施する場合

（事業イメージ） 利用者支援事業（母子保健型）、利用者支援事業（基本型）の両事業を同一の事業者（施設）が受託し、両事業のコーディネーターが同じ場所で1つのチームとなって実施する方法

（実施例） 和光市など

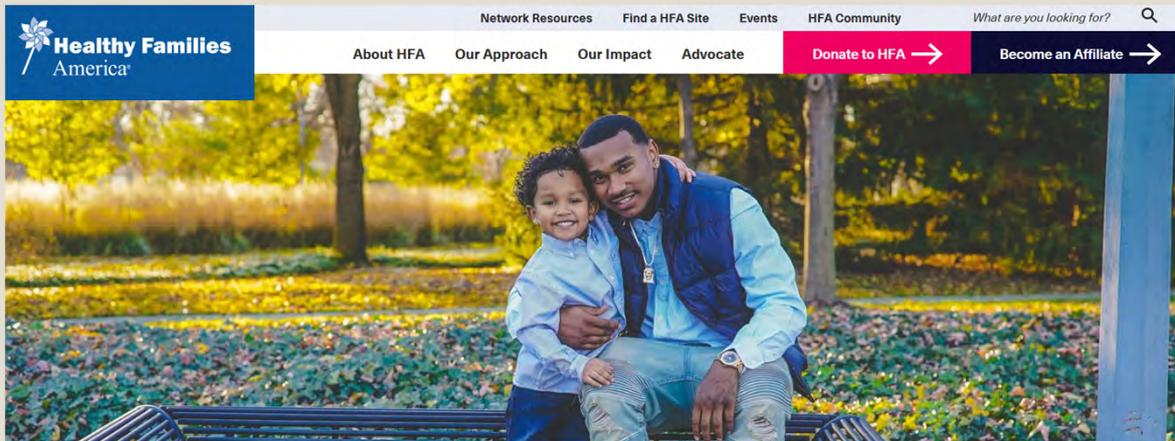


【妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の実施】



<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/administer/office/pdf/s41-2.pdf>

# Healthy Families America



About us :Healthy Families America (HFA) is one of the leading family support and evidence-based home visiting programs in the United States. We believe early, nurturing relationships are the foundation for healthy development.

<https://www.healthyfamiliesamerica.org/about/>

## Healthy Families America Training Opportunities for Affiliates

- **ファミリーサポートコアトレーニングの基礎**: 家族支援の基礎(FFS)は、すべてのホームビジター、スーパーバイザーおよびプログラムマネージャーに必要な詳細な正式なトレーニングです。トレーニングでは、HFA内での役割におけるホームビジターの特定の義務について概説します。トピックには以下が含まれます: **トラウマに基づいた実践**、**コミュニケーションスキル**; 前向きな親子関係を評価、対処、促進する。家族との信頼できる協力関係を築く。目標設定; **家族の機能を強化**し、困難な状況に対処し **健全な子どもの発達**を確保するための戦略。
- **家族のリソースと成長の機会(FROG)スケールトレーニング**: 健康な家族は関係ベースのモデルであり、各家族との関係を構築することが、私たちが彼らと一緒に進む仕事の基盤になることを意味します。両親に彼らの話を私たちと共有するように招待することによって、私たちは彼らと関係を構築するプロセスに参加させます。調査によると、会話は信頼を築き、健全な関係には信頼が不可欠であることが示されているため、それを行う最も効果的な方法は会話をすることです。FROG(家族資源と成長の機会)スケールは、他の人の物語を学び、その人に影響を与える強みと課題を理解し、健康な家族の一部として支援的で有意義な関係となるものへの家族の参入の舞台を設定するための構造化されたツールです。

[Training | HFA \(healthyfamiliesamerica.org\)](https://www.healthyfamiliesamerica.org)

## Healthy Families America Training Opportunities for Affiliates

- **スーパーバイザーコアトレーニング**
  - 監督者とプログラムマネージャーにHFAモデルの実装に関する詳細情報を提供し、専門能力開発と品質改善とともに、Home Visitorの監督ニーズに具体的に対処します。
  - スーパーバイザーコアには2つのコンポーネントがあり、ファウンデーション(FFS)トレーニングとFROGトレーニングにそれぞれ関連付けられている。



[Training | HFA \(healthyfamiliesamerica.org\)](https://www.healthyfamiliesamerica.org)

## Oregon Healthy Start Program 予防的育児支援



58

## Healthy Families Program Goals 健康な家族プログラムの目標

1. アセスメントの過程を通して、  
すべての家族に(支援の)手を差し伸べる
2. 肯定的な親子関係を促進する
3. (子どもの)健康な成長と発育を促進する
4. 家族としての機能を増進する



Prevent Child Abuse America のプログラム

59

## Oregon Healthy Start Program

- ◆ 初産の家族への普遍的な基本サービス
- ◆ ハイリスク家族への集中的な家庭訪問;
  - \* 信じあえる親子関係を構築する
  - \* 乳幼児期の発達を教える →
  - \* 家族システムを改善する
  - \* 親に問題解決の技術を教える

探索行動:  
達成感と満足の  
“どや顔”



重要な要素; 愛着の促進, 子育てスキル(かかわり方)の促進,  
発達の情報提供, 親の自己実現の支援

## Goal #1: Reaching out to families

第1目標: 家族に(支援の)手を差し伸べる

- ◆ すべての家族をサービスや資源につなぐ
- ◆ すべての家族に親業(parenting)の情報を提供する
- ◆ 必要なものがすべて、揃っているか確認する

## Family Stress Checklist 家族ストレスチェックリスト

- ◆ 家族の強みとニーズを組織だって(系統的に)発見できる
  - ◆ アセスメントワーカーの3つの仕事
- どの家族が支援と教育の特典の対象となるか決めること
  - 新しく親になった人たち全部に情報と地域の資源を提供すること
  - 健康な家族プログラムに照会すること

5<

## 家庭訪問のロールプレイ



### 初回の家庭訪問

プレゼントを持参する  
キルト, パンフレット, 本など

**もっとも大切なツールは自分**  
**“意識している自分”が大切**

**職種(資格)ではなく、資質**

63

Communityからの  
small presents を持参  
(手づくりのキルトや絵本など)

## 家庭訪問の実際

タミータイム  
和訳すると、ぽんぽん(おなか)タイム  
うつぶせにしてみる時間



まず、信頼関係をつくる

64

## Goal #2: Positive parent-child relationships

第2目標: 肯定的な親子関係

- ◆ Nurture parents & children:  
両親と子どもを(同時に)養育する
- ◆ Skill building: 技術を身につける
  - Non-physical discipline  
体に触れない(体罰のない)しつけの方法
  - Empathy  
共感(を示す技術)
  - Communication  
意志伝達(の技術)

65

## Goal #3: Healthy child development

### 第3目標:子どもの健康な発達

- ◆ Immunizations 予防注射
- ◆ Medical doctor かかりつけ医を持つこと
- ◆ Stimulation 適切な刺激のある環境
- ◆ Child & home safety 子どもと家庭の安全
- ◆ Developmental screening  
発達のスクリーニング

66

## Why home visiting?

### なぜ家庭を訪問するのか?

- 赤ちゃんは子育ての手引き書や使用説明書を持って生まれてこない
- 新しい親たちは何らかの助けを必要としている
  - 情報、つながり、支援
- 早期の投資は未来の社会で還元できる  
今、\$1の予防的投資→将来的\$4の削減

68

## Why home visiting works なぜ家庭訪問が効果的なのか

- ◆ 家族の環境で行うから
- ◆ 親がコントロールできる場にいるから
- ◆ 孤立している親たちに接触できるから
- ◆ 家族を地域のサービスに連結できるから

69

## 家族全体のWell-being



### 家族全体のウェルビーイングを促進する支援の探求

- 拗れてしまってから…困難化してからでは遅い!
- 子どもも家族も支援者にとっても、時間ばかりが過ぎてゆき疲弊する  
➡ だからこそ予防、予防的育児支援、家族の価値観の尊重  
= 急がば回れ!
- 家族の価値観を尊重する具現化の試みの一つとして  
「家族の価値カード」を用いたリフレクション
- 自らの「家族の価値観(感)」に気づき、言語化を助ける機会

日本家族看護学会第25回学術集会(2018) 発表スライドより

## 「家族の価値カード」とは



- 米国で開発され、**家族にまつわる価値観をさまざまに表現した30数枚のカード**  
例)「家族と一緒に食事をする」「家庭に笑いがある」「子どもを愛する」…
- 大切であると思うものを5枚程度選び、ホワイトボードに自由に配置する。
- 選んだ理由や背景、自身の気持ちを自由に語り、紹介してもらう。
- ASD(Autism disorder spectrum)の子どもの母親支援プログラムの一環として用い、「**家族の価値カード**」を発端に、**参加者相互の会話の力によって「新しい自己」を生み出す役割を果たす可能性を見出してきた<sup>1)</sup>**。

⇒ 日本版の検討、使用方法・場面を提案する活用ガイドの作成

1) 門間晶子、浅野みどり他 (2014) . 「家族の価値カード」から生まれるナラティブ・コミュニティ.  
日本看護研究学会雑誌, 37(1), 105-113



すべての子どもたちに  
愛と未来を。

「奮闘する乳児院を研究で支えたい」

皆様、ご支援いただき誠にありがとうございました。  
プロジェクトの目的達成に向けて精一杯取り組んで参ります。  
引き続きどうか宜しくお願い申し上げます。

名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY

すべての子どもたちに  
愛と未来を。

「奮闘する乳児院を研究で支えたい」

名古屋大学医学系研究科  
小児看護学チーム

名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY

ご清聴いただきありがとうございました。

E-mail midoria@met.nagoya-u.ac.jp